

新収蔵記念 中川一政展

不退転 —人生100年時代を生きる力—

「厳然と頂点を百年の前に置いて、真に働く画かきが要る。私は自分の力というものを限定しない。」（春陽会20周年講演会（1942年）講演録より）

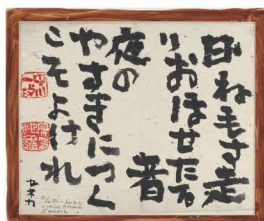
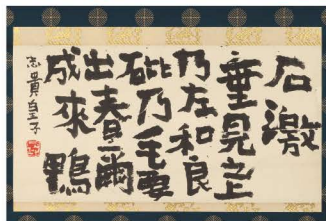
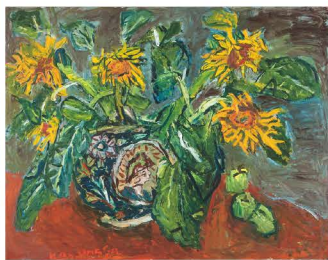
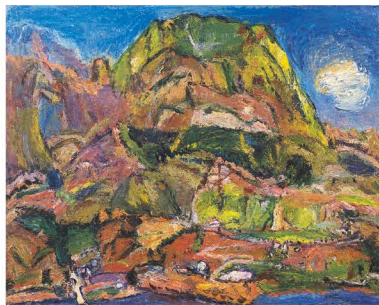
「人間には完成というものはないようだ。仕事にも完成というものはないようだ。一つ山を登れば、彼方にまた大きな山が控えている。それをまた登ろうとする。力つきるまで。」（「腹の虫」1975年、日本経済新聞社）

「百歳になったら、人物を描いてみたい。（中略）他人が描かないような人物画を描いてみたい。そんな仕事もしてみたい。」（「獨り行く道」2011年、求龍堂）

中川一政記念美術館は、中川一政画伯（1893-1991、文化勲章受章者）より86点の作品の寄附を受けて1986（昭和61）年に開館しました。91（平成3）年の画伯の歿後、御親族より寄附された作品・資料138点と合わせた224点が当館コレクションの核となっています。そして、このコレクションは、これまでに関係各位より寄せられた作品・資料によって更に充実したものとなり、開館35年目を迎える現在の所蔵点数は、中川一政作品だけで482点（関連作品・資料及び図書は含まず。）を数えます。改めてこの場を借りて、各位の御芳志に感謝を申し上げます。

この度、令和2年度の特別企画・所蔵全作品公開展として、これら482点を4期に分けて順次公開しています。本展はその第3期として開催し、令和元年に新たに収蔵した書・岩彩・陶器等28点ほかを初公開します。

98歳を目前にするまで現役で旺盛な創作活動を行なった中川一政。20代から独学で歩んだ画の道は、試練に屈することなく、自らの手応えだけを信じて進むまことに「不退転」の決意に貫かれたものです。絵画だけでなく、70代、80代で書や陶芸など新たな表現に全力で取り組み、90代になっても新たな山の頂を目指す如く歩み、自己革新を続けた一政の作品は、いずれも自在の境地に到り、生き生きとした生命感を放っています。年を重ねても、日々感動を原動力にして生み出される作品は、私たち見るものの心を揺さぶります。これらの作品群をとおして一政の生き様に触れることは、「人生100年」と言われる現代において、そしていかなる苦難の時代にあっても、私たちに今を懸命に生き抜いていく勇気と力を与えてくれることでしょう。



上段左から「馬ヶ岳」1975年（82歳）130.0×162.0cm／「向日葵」1978年（85歳）90.9×116.7cm／「薔薇」1982年（89歳）65.1×53.0cm／愛用品 マジョリカ陶器 胴径24.0×高さ21.3cm（17世紀、イタリア）、新収蔵／「不退転」125.0×30.5cm、新収蔵
下段左から「石澗垂水之上（いわばしるたるみのうえの・志貴皇子）」1976年（83歳）30.7×60.7cm、新収蔵／「日ねもす走りおぼせたる者（セネカ）」48.1×51.3cm、新収蔵／「鷹之羽と鯉」1985年（92歳）38.8×66.6cm、新収蔵／「花入」口径10.5×高さ12.3cm、新収蔵
【展示構成】油彩13点、岩彩5点、書22点、陶芸等17点、挿画等原画9点、版画2点、愛用品（コレクション）4点、写真ほか資料等16点、展示総数88点（予定）

関連イベント

I オープニングイベント コンサート 【無料（要観覧券）／定員30名（要申し込み）】
9月5日（土）10：30～11：30 美術館内※

【出演】加藤純子さん（チェンバロ）、大村俊介さん・大村一恵さん（ヴァイオリン）
※展示室内を会場とするため、イベント中は一般の観覧を制限させていただきます。何卒ご了承ください。

II 0歳からの家族鑑賞会「ミュージアム・スタート」【無料／要申し込み】

10月19日（月・休館日）午前（2回実施予定）※

【対象】0歳～未就学児とその家族 【定員】各回家族6組程度

【内容】小さなお子さんとそのご家族を対象に、アートをととしたコミュニケーション体験をガイドします。

【協力】NPO法人 赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会

※実施方法や時間等については、感染症の状況に応じて決定し、当館ウェブサイトでご案内いたします。

III 美術館句会 ～俳人 大高翔さんをお迎えして～【会費1,000円（観覧券含む）／要申し込み】
11月29日（日）10：00～12：00 【定員20名】

【内容】美術館内を吟行し、作品からイメージを膨らませて句作り、句会を行います。初心者歓迎します！

IV ギャラリートーク【無料（要観覧券）／申し込み不要／当日先着5組※】

9月13日（日）、9月26日（土）、10月4日（日）、10月24日（土）、11月8日（日）、11月21日（土）
全て11：00～12：00 担当学芸員 ※定員を超えた場合、時間を分けて実施します。

当館では、新型コロナウイルス感染症対策を実施して展覧会及び関連イベントを開催いたします。入館の際には、手指の消毒や検温、マスクの着用などのご協力をお願いいたします。十分な間隔を保って観覧いただくために、入場制限を行なう場合があります。感染の拡大状況によっては、展覧会期の変更や、イベントの縮小、中止などの場合があります。

白山市立松任中川一政記念美術館
NAKAGAWA Kazumasa Memorial Museum of Art

〒924-0888 石川県白山市旭町61-1
TEL/FAX 076-275-7532



■休館日 毎週月曜日（祝日は開館し、その翌日は休館）

■開館時間 9:00～17:00（入館は16:30まで）

■観覧料 一般200円（100円）、高校生100円（50円）、中学生以下は無料

※（ ）は20名以上の団体割引料金／観覧料には隣接する施設の入館料が含まれます。

■交通案内 電 車：JR松任駅（金沢駅から福井方面普通列車で約10分） 南口から徒歩1分

東 京ー金沢 北陸新幹線 かがやき利用で約2時間30分

大 阪ー金沢 特急サンダーバード利用で約2時間30分

名古屋ー金沢 特急しらさぎ利用で約3時間

車：北陸自動車道 白山インターから車で約10分（美術館専用駐車場8台あり）

航空機：小松空港からJR小松駅経由でJR松任駅下車

